

Goblin

HDD Image Maker

User Guide

V 3.0



EN

Content Index

目次		
Chapter 1.		
製品概要		
1. Goblin について	4	
2. 製品の特長	5	
3. システムの概要	6	
A. 各部の名称	6	
B. 製品内容	7	
C. HDD の接続方法	7	
1) SATA HDD	7	
2) eSATA HDD	7	
4. 機能一覧	8	
Chapter 2.		
HDD のバックアップ方法		
• HDD イメージバックアップ	10	
• 1 : 1 コピー	10	
1. HDD イメージバックアップを実行する	11	
2. 1 : 1 コピーを実行する	12	
3. コピーを実行する前に (設定)	13	
Chapter 3.		
HDD イメージを復元する		
HDD イメージの復元方法	16	
Chapter 4.		
正確性を検証する (コンペア)		
正確性を検証するには	17	
1. コンペアを実行する	17	
2. コピー後、コンペアを実行する	18	
Chapter 5.		
HDD イメージの管理		
HDD イメージの管理方法	19	
① HDD 情報	19	
② イメージ情報	20	
③ リネーム	20	
④ イメージの削除	20	
⑤ HDD のフォーマット	21	
Chapter 6.		
ユーティリティ		
1. Show Disk Info (HDD 情報)	22	
① Model Number	22	
② Version of Firmware	22	
③ Serial Number	23	
④ Device Power Cycle	23	
⑤ Power-on Hours	23	
⑥ Reallocation Event Count	23	
⑦ Off-Line Scan Uncorrectable		
Sector Count	23	
⑧ Seek Error Rate	24	
⑨ Temperature	24	
2. System Info (システム情報)	24	
3. System Update (F/W アップデート)	24	
Step 1: アップデート用 HDD 作成	24	
Step 2: F/W アップデート	25	
Chapter 7.		
設定		
1. コピーモードの設定	26	
2. エラースキップ	26	
3. 言語の選択	26	
4. 高度な設定	26	
4-1. 不明なフォーマット	27	
4-2. HPA 領域	27	
4-3. HDD 停止時間	28	
5. 初期設定に戻す	28	
FAQ		
FAQ	29	
製品仕様		
製品仕様	30	

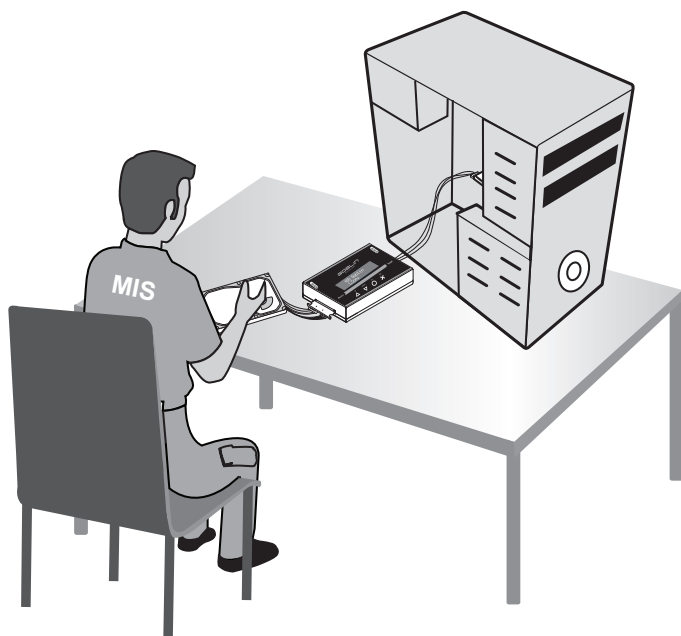
1 Product Overview

Chapter 1.

製品概要

1. Goblin について

Goblin HDD イメージメーカーは、簡単な操作で HDD のコピー、イメージバックアップ、復元することができます。また、Goblin はマスター HDD に複数の HDD イメージのバックアップを取ることができ、スタンドアロンでバックアップしたイメージを HDD に復元することが可能です。



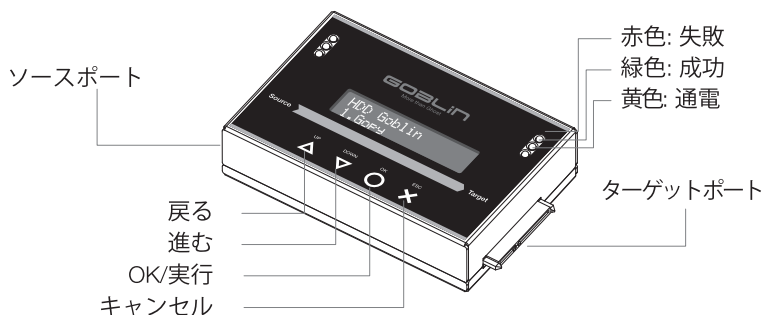
2. 製品の特長

- ☑ スタンドアロンで HDD のイメージバックアップと復元が可能 .
- ☑ 100以上のイメージを 1 つの HDD にバックアップ可能
- ☑ 32TB(理論値) までの HDD に対応
- ☑ バックアップしたイメージを選択して HDD に復元が可能
- ☑ システムおよびデータ部分のみイメージバックアップを行うため、バックアップ時間の節約が可能
- ☑ システム & ファイルコピーは Linux(ext2, ext3, ext4), Windows (NTFS, FAT16, FAT32, FAT64) および Mac OS (HFS, HFS+, HFSX) に対応
- ☑ PC と比較して安定したコピー速度
- ☑ イメージデータは非圧縮のため、高速なバックアップが可能
- ☑ PC 不要の完全スタンドアロン動作
- ☑ 簡単なボタン操作で HDD のコピー・イメージバックアップが可能 .
- ☑ エラースキップ機能搭載
- ☑ 2.5" & 3.5" SATA/eSATA HDD 対応
- ☑ 4つのコピーモード (システム&ファイルコピー、パーティションココピー、セクタコピー、パーセンテージコピー)
- ☑ 軽量で可搬性にすぐれたコンパクトボディ

1 Product Overview

3. システムの概要

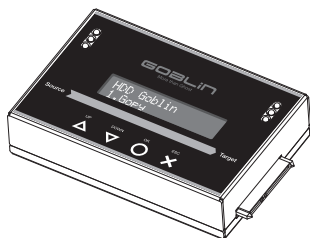
A. 各部の名称



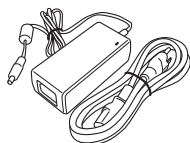
部分	名称	説明
コネクタ	ソースポート	コピー元 HDD 接続用コネクタ
	ターゲットポート	コピー先 HDD 接続用コネクタ
LED	赤色	コピーが失敗した場合に点灯します
	緑色	コピーが成功した場合に点灯します
	黄色	HDD に電源が供給されると点灯します
ボタン	▽ UP	メニュー選択時に使用します (戻る)
	△ DOWN	メニュー選択時に使用します (進む)
	○ OK	メニューや操作決定時に使用します。
	× ESC	操作キャンセル時に使用します。

Product Overview 1

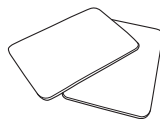
B. 製品内容



Goblin本体 × 1



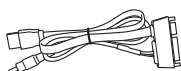
ACアダプタ × 1
ACケーブル × 1



HDDパッド × 2



英語版マニュアル × 1



eSATA ケーブル × 2



SATA ケーブル
10cm × 2 / 45cm × 1

C. HDD の接続方法

1) SATA HDD



2) eSATA HDD



Function Table

4. 機能一覧

機能	メニュー	説明
1. Copy (コピー)	1. HDD -> Image	コピー元データをイメージデータとしてバックアップします。
	2. Image -> HDD	イメージデータを HDD に復元します。
	3. HDD -> HDD	コピー元 HDD のデータをコピー先 HDD に 1 : 1 コピーします。
2. Compare (コンペア)	1. HDD -> Image	コピー元 HDD とイメージデータをコンペアします。
	2. Image -> HDD	イメージデータとコピー先 HDD をコンペアします。
	3. HDD -> HDD	コピー元 HDD とコピー先 HDD をコンペアします。
3. Copy+Compare (コピー&コンペア)	1. HDD -> Image	コピー元データをイメージデータとしてバックアップし、その後自動的にコンペアします。
	2. Image -> HDD	イメージデータを HDD に復元し、その後自動的にコンペアします。
	3. HDD -> HDD	コピー元 HDD のデータをコピー先 HDD に 1 : 1 コピーし、その後自動的にコンペアします。
4. Image Manager (イメージ管理)	1. Show HDD Info	イメージバックアップ先の HDD 情報を表示します。
	2. Show Image Info	バックアップイメージの情報を表示します。
	3. Rename Image	イメージデータのファイル名を変更します。
	4. Delete Image	イメージデータを削除します。
	5. Format HDD #2	HDD をイメージバックアップ専用形式にフォーマットします。

Function Table

機能	メニュー		説明
5. Utility (ユーティリティ)	1. Show Disk Info.	1. Model Number	HDD の S.M.A.R.T 情報を取得し、表示します。 1. 型番 2. ファームウェアバージョン 3. シリアルナンバー 4. 電源投入回数 5. 通電時間 6. 代替セクタカウント 7. 代替不能セクタカウント 8. シークエラーレート 9. 温度
		2. Version of Firmware	
		3. Serial Number	
		4. Device Power Cycle	
		5. Power-on Hours	
		6. Reallocation Event Count	
		7. Off-Line Scan Uncorrectable Sector Count	
		8. Seek Error Rate	
		9. Temperature	
	2. System Info		Goblin のシステム情報を表示します。
6. Setup (設定)	3. Update System	1. Update BIOS	Goblin の F/W をアップデートします。
		2. Create Update HDD	F/W アップデート用 HDD を作成します。
	1. Copy Area	System and Files	HDD のシステムおよびデータ部分のみをコピーします。
		All Partitions	HDD の領域確保されている部分をコピーします。
		Whole HDD	HDD 全体をセクタ単位でコピーします。
		Percentage(%)	コピーする領域を%で指定してコピーします。
	2. Skip Error		不良セクタのスキップ設定を行います。
	3. Language		言語を選択します。
	4. Advanced Setup	Unknown Format	不明なフォーマットをコピーする、しないを選択します。
		Clear HPA at ERASE	コピー時、HPA 領域のデータを保持する、しないを選択します。
		Stop Motor Time	HDD 停止時間を設定します。
	5. Restore Default		本体を初期設定に戻します。

2 Function : Copy

Chapter 2.

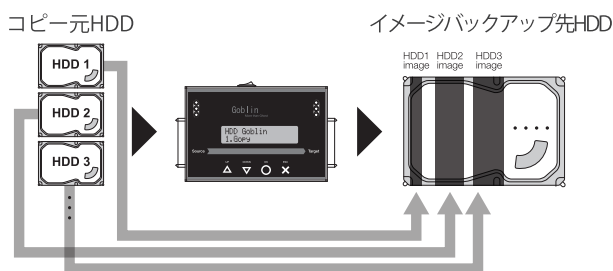
HDD のバックアップ方法

バックアップには 2 つの方法があります。

• HDD イメージバックアップ

複数の HDD データをイメージとして 1 つの HDD にバックアップします。

バックアップしたデータはそのまま読み込むことはできないため、HDD にデータを復元する必要があります。



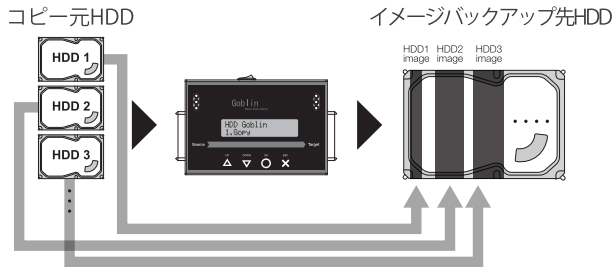
• 1 : 1 コピー

ソースポートに接続した HDD のデータを、ターゲットポートの HDD に直接コピーします。データはイメージに変換されず、そのままコピーされますので、コピー後の HDD はそのまま読み込むことができます。



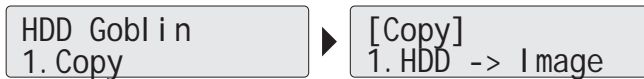
Function : Copy 2

1. HDD イメージバックアップを実行する

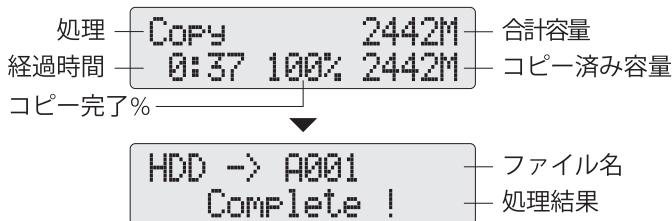


バックアップを取りたいHDD をコピー元ポートに接続し、バックアップするHDD をコピー先ポートに接続します。

1. メニュー 1.Copy >> 1.HDD -> Image. を選択し、○ボタンを押すと、イメージバックアップが開始されます。.



2. バックアップが開始されると、LCDディスプレイに進行状況が表示されます。コピーが完了すると「Complete」の文字が表示され、HDD の電源がオフになります。



注意

コピーモードの初期設定は「システム&ファイルコピー」です。変更する場合はコピー前にメニュー 6 "Setup">> "Copy Area" で設定を行ってください。

2 Function : Copy

2. 1 : 1 コピーを実行する

コピー元の HDD データをそのままコピー先 HDD にコピーします。



コピー元 HDD とコピー先 HDD をそれぞれソースポートとターゲットポートに接続します。

1. メニュー 1.Copy >> 3.HDD -> HDD. を選択し、○ボタンを押すとコピーが実行されます。

[Copy]
3. HDD -> HDD

2. コピーが完了すると、コピーの結果が表示され、正常に完了した場合は緑色 LED が点灯します。

Copy 2442M
0:38 100% 2442M

Pass 0: 37
No Bad Sector

コピー中にエラーが発生すると、赤色 LED が点灯し、エラーメッセージが表示されてコピーは中断されます。

Fail 0: 47
Bad Sector R0 W1

3. コピーを実行する前に（設定）

コピーを実行する前に、コピーモードが目的にあったものに設定されているか確認してください。

設定方法：メニュー 6.Setup>>Copy Area"

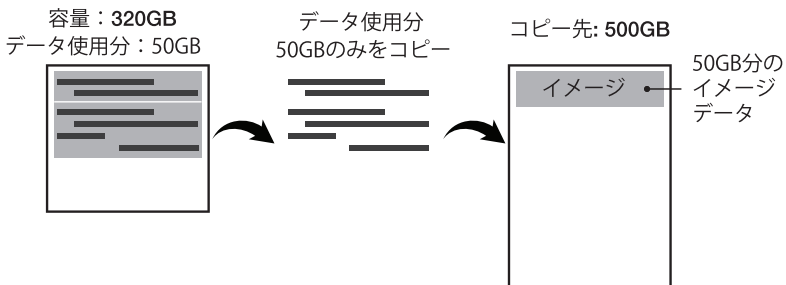
1. コピーモードの説明

コピーモードには 4 つの種類があります。

- ① システム&ファイルコピー ② パーティションコピー , ③ セクタコピー
- ④ パーセンテージコピー

① システム&ファイルコピー

(FAT、NTFS、ext2/3/4、HFX、HFS、HFS +に対応)

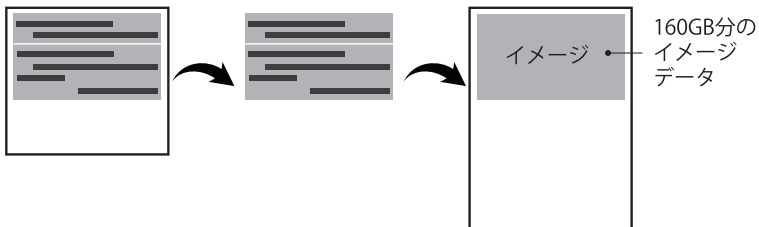


② パーティションコピー

容量: 320GB
パーティション: 160GB
50GB分のデータ

パーティション部分
160GBのみコピー

HDD容量: 500GB



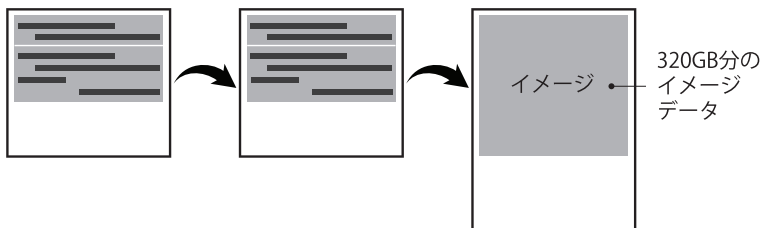
2 Function : Copy

③ セクタコピー

容量: 320GB
パーティション: 160GB
データ容量: 50GB

セクタコピー
320GB

コピー先: 500GB

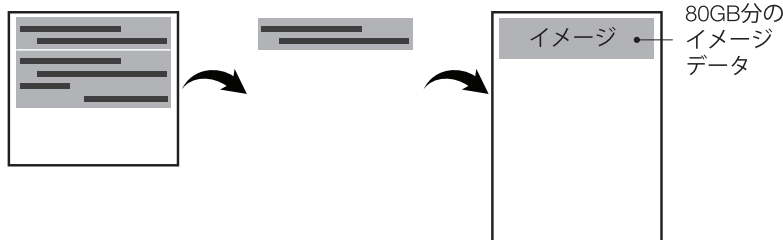


④ パーセンテージコピー

容量: 320GB
0~25%: 80GB
データ容量: 50GB

パーセンテージ(%)

コピー先: 500GB



2. 【重要】イメージデータをバックアップするためには、バックアップ先のHDDをあらかじめ専用形式にフォーマットする必要があります（初めて使用するHDDのみ）。

バックアップ先HDDに重要なデータが入っていないことを確認したうえ、HDDをターゲットポートに接続し、メニュー 4 Image Manager>>5. Format HDD #2を実行してHDDのフォーマットを行います。

Function : Copy 2

3. バックアップしたイメージデータは「001」から始まる連番のファイル名で保存されます。イメージデータのファイル名の変更および削除は次の操作を行います。

ファイル名の変更：メニュー 4.Image Manager >> 3.Rename Image
を選択し、▲ / ▼ボタンで文字を選択して○ボタンで決定します。最大 8 文字のファイル名を付けることができます。

イメージの削除：メニュー 4.Image Manager >> 4.Delete Image を選択し、削除したいイメージデータを▲ / ▼ボタンで選択し、○ボタンで決定すると、イメージデータが削除されます。

注意：イメージデータのファイル名変更や削除を行う際は、HDD を必ずターゲットポートに接続してください。ソースポートに接続した場合、操作を行うことはできません。

注意

- イメージデータバックアップ HDD は Goblin 専用フォーマットとなります。PC 上でフォーマットした HDD は使用できません。どのようなフォーマット形式でも、Goblin 本体で再度フォーマットを行う必要があります。
- イメージバックアップ可能なファイル数は、バックアップ HDD の容量に依存します。多数のイメージをバックアップしたい場合は、大容量の HDD をご使用ください。

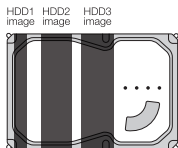
3 Function : Restore Image

Chapter 3.

HDD イメージ復元する

バックアップイメージが入った HDD をソースポートに接続し、復元先の HDD をターゲットポートに接続します。

イメージデータが入ったHDD



復元先のHDD



1. メニュー 1.Copy >> 2.Image->HDD を選択し、復元したいイメージデータを▲/▼ボタンで選択後、○ボタンを押すと復元が開始されます。

[Copy]
2. Image -> HDD

2. 進捗が 100% に達すると、Complete ! の表示後、HDD の回転が停止し、復元が完了します。

Copy 2442M
0: 38 100% 2442M



A001 -> HDD
Complete !

注意

復元先の HDD にデータが入っている場合、イメージデータの復元を行うとデータは上書きされるため、元のデータは消去されます。復元先の HDD に重要なデータが入っていないか、あらかじめ確認の上、復元を行ってください。

Chapter 4.

正確性を検証する（コンペア）

1. コンペアを実行する

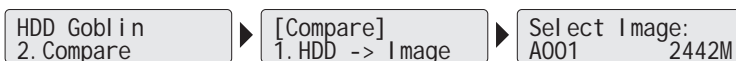
コピーの正確性を確認するために、Bit-by-Bit 方式のコンペアを実行します。



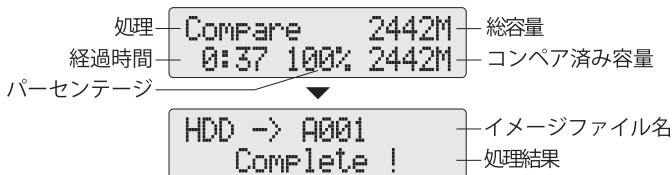
1. コピー元の HDD とコピー先の HDD をそれぞれソースポートとターゲットポートに接続します。
2. メニュー 2.Compare >> サブメニューを選択し、OK ボタンを押すと、コンペアが実行されます。

■サブメニュー

- ・ HDD -> Image : コピー元 HDD とイメージデータをコンペアします。
- ・ Image -> HDD : イメージデータと復元後の HDD をコンペアします。
- ・ HDD -> HDD : 1 : 1 コピーを行ったコピー元 HDD とコピー先 HDD をコンペアします。



3. 進捗が 100% に達すると、Complete ! の表示と共に緑色 LED が点灯し、コンペアが完了します。



4 Function : Compare

2. コピー後、コンペアを実行する

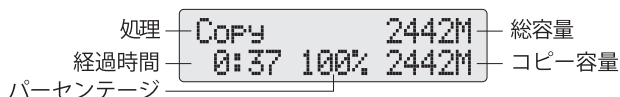
HDD バックアップやコピーの際、メニュー 3. Copy + Compare を使用することで、コピー後に自動的にコンペアを実行することができます。



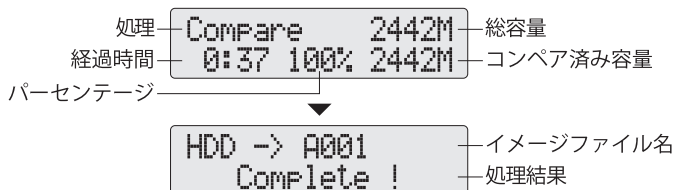
1. コピー元の HDD とコピー先の HDD をそれぞれソースポートとターゲットポートに接続します。
2. メニュー 3.Copy+Compare >> サブメニューを選択後、○ボタンを押すと、コピー+コンペアが実行されます。



3. 最初にデータコピーが始まり、データコピーが完了すると、自動的にコンペアに移行します。



4. コンペアが完了すると、Complete! の文字が表示され、緑色 LED が点灯します。



Function : Manage Image 5

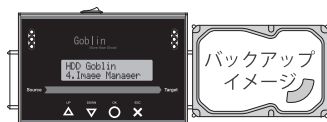
Chapter 5.

HDD イメージの管理

メニュー4 Image Manager でバックアップイメージを管理することができます。

注意

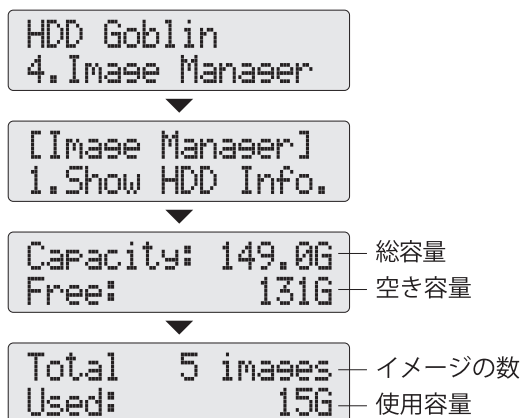
Image Manager を起動する際は、必ずターゲットポートにイメージバックアップを取った HDD を接続してください。



① System HDD Info.(HDD 情報)

イメージバックアップした HDD の基本的な情報が表示されます。

メニュー 4.Image Manager >> 1.Show HDD Info を選択してOボタンを押すと、HDD の情報が表示されます。▼ボタンを押すと、さらに情報が表示されます。

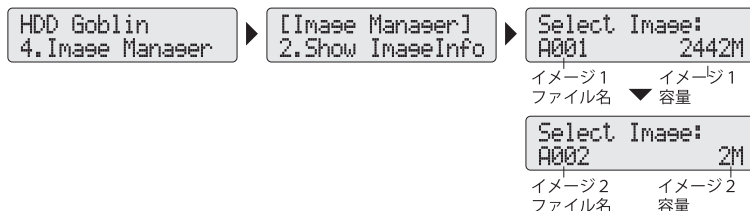


5 Function : Manage Image

② Show Image Info. (イメージ情報)

イメージバックアップ HDD 内の各イメージ情報を表示します。

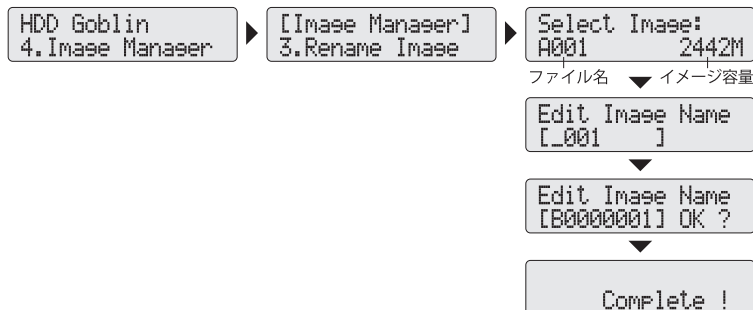
メニュー 4.Image Manager >> 2.Show Image Info. を選択して○ボタンを押すと、イメージ情報が表示されます。▼ボタンを押すと、次のイメージ情報が表示されます。



③ Rename Image (リネーム)

バックアップイメージのファイル名は A001 から始まる連番で自動的に保存されていきます。本機能を使用して、ファイル名を変更することができます。

メニュー4 4.Image Manager >> 3.Rename Image を選択し、○ボタンを押すとイメージファイルが表示されますので、リネームしたいイメージファイルを▲/▼ボタンで選択し、○ボタンを押します。ファイ名変更画面では▲/▼ボタンで文字を選択し、○ボタンを押すと文字が決定されます。最大 8 文字まで入力することができます。



Function : Manage Image 5

④ Delete Image (イメージの削除)

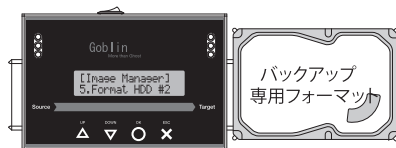
イメージバックアップHDD内のイメージを削除します。

メニュー 4.Image Manager >> 4.Delete Image. を選択し、○ボタンを押します。次に削除したいイメージを▲ / ▼ボタンで選択し、○ボタンを押すと、削除が実行されます。

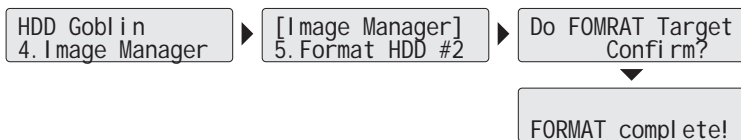


⑤ Format HDD #2 (HDD のフォーマット)

ターゲットポートに接続した HDD をイメージバックアップ専用形式にフォーマットします。新規に HDD を用意してイメージバックアップを取る際には、必ずこの機能を使用して専用形式にフォーマットする必要があります。



メニュー 4.Image Manager >> 5.Format HDD #2 を選択し、○ボタンを押すと、フォーマットの確認画面が表示されます。再度○ボタンを押すと、フォーマットが実行されます。



注意

- ・フォーマットを実行せずにイメージバックアップを実行すると、“Target Hard Disc is not formatted” と表示され、バックアップできません。イメージバックアップを行う際には、必ずフォーマットを実施してください。

6 Function : Utility

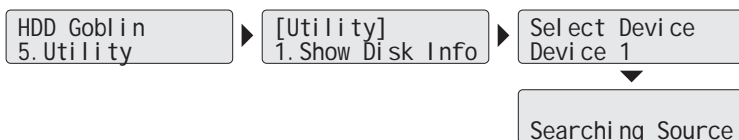
Chapter 6.

ユーティリティ

1. Show Disk Info (HDD 情報)

本機能は HDD の S.M.A.R.T 情報を取得し、HDD の情報を表示します。

1. メニュー 5.Utility >> 1.Show Disk Info を選択し、○ボタンを押して情報を表示したい HDD を ▲ / ▼ボタンで選択して○ボタンを押すと、HDD の情報が表示されます。▲ / ▼ボタンで 9 種類の情報が表示できます。



① Model Number (型番)

HDD の型番を表示します。



② Version of Firmware (F/W バージョン)

HDD のファームウェアバージョンを表示します。



③ Serial Number (シリアルナンバー)

HDD のシリアルナンバーを表示します。



④ Device Power Cycle (電源投入回数)

HDD の電源投入回数を表示します。



⑤ Power-on Hours (通電時間)

HDD の合計通電時間を表示します。



⑥ Reallocation Event Count (代替セクタカウント数)

代替えセクタ処理を行った回数を表示します。



⑦ Off-Line Scan Uncorrectable Sector Count

(代替不能セクタカウント数)

回復不可能なセクタ総数を表示します。



⑧ Seek Error Rate (シークエラーレート)

シークエラーレートを表示します。



⑨ Temperature (温度)

HDD の温度を表示します。

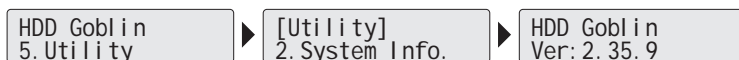


6 Function : Utility

2. System Info. (システム情報)

本機能は、Goblin 本体のシステム情報を表示します。ファームウェアバージョンなどが確認できます。

メニュー 5.Utility >> 2.System Info. を選択し、○ボタンを押すとシステム情報が表示されます。



3. System Update (F/W アップデート)

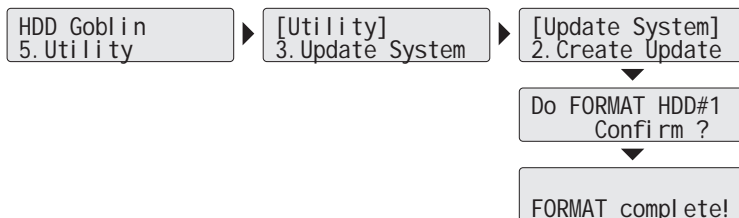
本機能は、Goblin のファームウェアアップデートを実行します。最新版ファームウェアは U-Reach の Web サイトおよびサポートから提供予定です。

Step 1: F/W アップデート用 HDD 作成

HDD を F/W アップデートに適した形式 (FAT 2GB パーティション) にフォーマットします。

※フォーマットを実行すると、HDD のデータは全て消去されます。重要なデータが入っている場合は必ずバックアップを行ってください。

フォーマットする HDD をソースポートに接続し、メニュー 5.Utility >> 3.Update System >> 2.Create Update HDD >> Do FORMAT HDD#1 を選択して○ボタンを押します。確認画面が表示されるので、再度○ボタンを押すとフォーマットが実行されます。.



Function : Utility 6

Step 2: F/W アップデート

フォーマットしたHDDをPCに接続し、ダウンロードしたF/Wをコピーした後、PCからHDDを取り外し、Goblinのソースポートに接続します。

1. メニュー 5.Utility >> 3.Update System >> 1.Update BIOS を選択し、
○ボタンを押します。

HDD Goblin
5. Utility

▶ [Utility]
3. Update System

▶ [Update System]
1. Update BIOS

2. HDDにコピーしたファームウェアファイルが検知されると、F/Wアップデートが開始されます。しばらく待つと、アップデートが完了し、電源オフするよう促すメッセージが表示されるので、電源をオフにします。電源オフ後、必ず5秒以上間隔をおいてから電源をオンにしてください。

[Update Process]
Writing>>>

注意

- F/Wアップデート中は絶対に電源をオフにしないでください。アップデートが完了しないまま電源をオフにすると、全ての機能が使用できなくなります。また、保証の対象外となりますので、十分にご注意ください。
- F/Wアップデート前に、必ず本体のF/WバージョンとアップデートするF/Wバージョンを確認してください。本体のF/Wバージョンより古いF/Wを適用すると、機能に問題が発生する可能性があります。
- ダウンロードしたF/Wは圧縮されています。かならず解凍してからHDDにコピーしてください。
- F/WファイルはかならずHDDのルートフォルダにコピーしてください。ルート以外にコピーすると、F/Wは検知されません。
- "No Update File!" と表示された場合、F/Wを正しく検知できていません。HDDの接続ポート（必ずソースポートに接続してください）、フォーマット形式やF/Wファイルのコピー場所等を再確認してください。

7 Function : Setup

Chapter 7.

Setup (設定)

1. Set Copying Area of HDD (コピーモード)

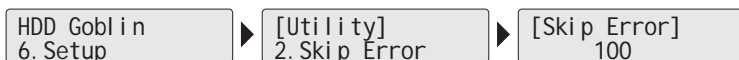
本機能はコピーモードの設定を行います。コピーモードの詳細は P.13 「コピーを実行する前に」をご参照ください。

メニュー 6.Setup >> 1.Copy Area を選択し、○ボタンを押してコピーモードを選択します。

2. Skip Error (エラースキップ)

HDD に不良セクタがある場合、コピーは停止してしまいますが、本機能を使用することで不良セクタをスキップしてコピーを続行することができます。エラースキップの許容範囲を 0~65536、または無制限 (Unlimited) で設定します。

メニュー 6.Setup >> 2.Skip Error を選択し、○ボタンを押します。▲ / ▼ ボタンで数値を選択し、○ボタンで決定します。



3. Language Choice (言語)

LCD ディスプレイに表示される言語を英語、または日本語から選択できます。

※一部日本語かれていないメニューや設定があります。

メニュー 6. Setup >> 3. Language を選択し、○ボタンを押して言語を選択し、再度○ボタンを押して決定します。



4. Advanced Setup (高度な設定)

5. コピー時の高度な設定を行います。

Function : Setup 7

1. メニュー 6.Setup >> 4.Advanced を選択し、○ボタンを押します。

HDD Goblin
6. Setup



[Utility]
4. Advanced Setup

4-1. Copy or Skip Unknown Format

(不明なフォーマット)

HDD が形式不明のフォーマットの場合、コピーを行うかスキップするかを選択します。

メニュー 6.Setup >> 4.Advanced Setup >> 1.Unknown Forma を選択し、○ボタンを押します。不明なフォーマットをコピーする場合は「Copy Unknown」、しない場合は「Skip Unknown」を選択し、○ボタンを押して決定します。

HDD Goblin
6. Setup



[6. Setup]
4. Advanced Setup



[Advanced Setup]
1. Unknown Format



[Unknown Format]
Copy Unknown

4-2. Clear HPA at ERASE (HPA 領域)

HDD コピー時、HDD に存在する HPA 領域のデータを保持する、しないを選択します。

メニュー 6.Setup >> 4.Advanced Setup >> 2.Clear HPA at ERASE を選択し、○ボタンを押して HPA 領域の扱いを設定後、○ボタンを押して決定します。

HDD Goblin
6. Setup



[6. Setup]
4. Advanced Setup



[Advanced Setup]
2. Clear HPA at E



[Clear HPA at E]
Clear HPA Set

7 Function : Setup

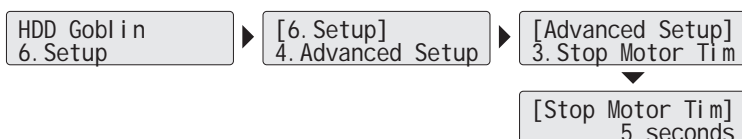
4-3. Stop Motor Time (HDD 停止時間)

HDD のコピーが完了後、どのタイミングで HDD の給電をストップさせるかを秒単位で設定します。

メニュー 6.Setup >> 4.Advanced Setup>>3.Stop Motor Time を選択し、○ボタンを押します。給電停止までの時間を 0~20 秒の間で設定します。

デフォルト設定は 5 秒です。

※極端に短い設定すると、HDD のフラッシングが完了しない場合があります。可能な限り 5 秒以上で設定を行ってください。



6. Restore to Default Setting (出荷時設定に戻す)

本体に設定した全ての設定を初期状態に戻します。

1. メニュー 6.Setup >> 5.Restore Default を選択し、○ボタンを押します。



2. 警告が表示されますので、初期設定に戻す場合は○ボタン、キャンセルする場合は X ボタンを押してください。



製品仕様

商品名	Goblin HDD イメージメーカー	
型番	HS268	
ターゲット数	1 to 1	
コピー方式	HDD>> イメージ、イメージ>> HDD HDD>> HDD	
対応 HDD/SSD	2.5"/3.5" SATA HDD/SSD、eSATA HDD	
コピーモード	システム&ファイルコピー	
	パーティションコピー	
	セクタコピー	
	パーセンテージコピー	
対応フォーマット形式	Linux (ext2, ext3, ext4), Windows(NTFS, FAT16, FAT32, FAT64) Mac OS(HFS, HFS+, HFSX)	
対応容量	32TB (理論値) まで	
LCD ディスプレイ	モノクロ LCD ディスプレイ	
操作ボタン	4 プッシュボタン (△ UP, ▽ DOWN, ○ OK, × ESC)	
言語	英語、日本語	
温度	動作温度 : 5°C~45°C	
	保管温度 : -20°C~85°C	
湿度	動作湿度 : 20%~80%	
	保管湿度 : 5%~95%	
電源	100V~240V ユニバーサル仕様	
認証	FCC, CE, RoHS	

- 仕様は予告なく変更する場合があります。

